グループホーム出東ララ

第 61 号

（社福）出ラ第 61 号
平成 30 年 5 月 21 日
社会福祉法人 出東福祉会
グループホーム出東ララ

若葉萌ゆる季節となりました。爽やかな一日の中でも気温の変化もあることから、利用者様が安定した体調でより良く過ごされるよう援助していきたいと思います。また、これから雨季に向けての突発的な気象状況（地震・風水等）において、利用者様の安全を第一に一層配慮していきたいと思います。これからもご家族様のご協力ご支援の程よろしくお願いいたします。

グループホーム出東ララ施設長　上野秀美

ボランティアさん

キッチンサポーターさんが来てくださり、
桜餅づくりを一緒にされました。
自分で作った桜餅は格別に美味しいね。ととても
喜んでくださいました。

日常のご様子

暖かくなってきたので園児さん達の散歩を見かけると
お～い！と声を掛けます。「みんないいこだね～」と
皆さん優しい笑顔で迎えられ園児さん達もうれしそうです。

晴れた日には外で体操をしたり、歌を唄ったり・・・
斐川公園へ手作り弁当持参し、つつじの花を見ながらゆったりとした
時間を過ごされました。

お 願　い

夏に向けての衣類の入れ替えをお願いします。
併せて冬用衣類、毛布の持ち帰りクリーニングも
お願いします。
毛布に替えてタオルケットや肌布団の用意を
お願いします。

◎年間行事◎

5 月　野外活動（西棟、東棟）フォーゲルパーク
6月　玉ねぎ収穫、さつまいもの苗植え（園児交流）
8月　ララ夏祭り
9月　敬老会
　　お月見会
10月　運動会、合同避難訓練（夜間想定）
11月　文化祭
12月　クリスマス会、忘年会、餅つき
1月　新年会、初釜
2月　節分
3月　ひな祭り

この他にも園児さん、ボランティアさんとの交流や
ドライブ、屋外での食事等皆さんのご希望をお聞き
しながら一緒に企画を立て楽しい時間を過ごして
頂けるように・・・と思っております。

新玉ねぎの美味しいレシピ

新玉ねぎを丸ごと用意します。下を1センチほど残し
放射状に切ります。ラップをして電子レンジで5分チンして
ポン酢とマヨネーズ、最後に鰹節をかけて出来上がり。

「親の『老い』を受け入れる

老いるということ
親が老いていくということ
それは何度も同じ話をするということ
何度も同じ事を訊いてはあなたを苛々させるということ

この言葉から始まる詩は町医者の長尾和宏先生が書かれた
ものです。老いの様々な現症を示しながら親は最後まで
子どもを気遣い委んでいきながら最後のメッセージとして
仕舞い支度を教えてくれているという内容です。この詩を
読むと「子供」としては泣けてきます。ネットでこの続きを見るこ
とができます。ぜひ見てください。